

別記様式(第7条関係)

第2回富士川町水道料金等審議会 会議録

- 1 会議の名称 富士川町水道料金等審議会
- 2 会議日時 令和3年10月8日(金)午後2時00分から  
午後3時00分まで
- 3 開催場所 富士川町役場本庁1階会議室
- 4 出席者数 委員 9名 (欠席者1名)
- 5 傍聴人数 0名 (傍聴人定員3名)
- 6 議題 富士川町水道ビジョン(素案)について
- 7 審議会内容
  - (1) 開会
  - (2) 議事  
審議会条例第6条の規定により、会長が議長となり議事進行を行う
  - (3) その他
- 8 発言の内容
  - (2) 富士川町水道ビジョン(素案)について  
事務局(説明)  
「富士川町水道ビジョン(素案)について」説明。  
委員(質問)  
水道事業の場合、事業を行った際、国からの助成金や補助金などはあるのか。  
このまま行ったら人口減少が進み赤字になるという事で、それに対する助成など  
はあるのか。  
事務局(回答)  
現状、上水道事業におきましては、国からの補助金はありませんが、企業債に  
対する交付税措置はございます。

委員（質問）

第4章の水道施設の効率性のところで、最大稼働率の推移があるが、令和2年度の実績値が79.41パーセントで令和3年度の予測が96.02パーセントとなっているが、何か理由があるのか。

事務局（回答）

令和2年度だけは異常値であると考えております。施設能力に対して水需要が少なくなり、施設効率が悪いということになります。令和元年度のような施設効率、最大稼働率で今後も推移して行くと考え、施設効率としては問題ないと評価しております。

委員（質問）

令和2年度だけ特別で、後は平均的に推移して行くという事でよろしいか。

事務局（回答）

その通りであります。施設の能力はある程度余裕がないと水が足りなくなってしまう、余裕がありすぎても効率が悪くなるという事で、バランスが大事になります。この10年間を見る限り、問題はないと考えます。

会長

第1章から第3章についてはよろしいか。

委員

異議なしの声。

委員（質問）

人口予測が2通り示されているがこの違いは何か。

事務局（回答）

緑で示していますグラフにつきましては、国立社会保障・人口問題研究所が推計しました人口予測になっております。青で示していますグラフにつきましては、富士川町人口ビジョン・総合戦略にて示してあります目標人口になります。

委員（質問）

将来の経営状況を考える上での人口推計の説明をお願いしたい。

事務局（回答）

現状、山梨県、富士川町においても人口減少が続いており、今回水道ビジョンを策定するにあたっては、将来的に人口減少が続くであろうとの考えで試算しております。

委員（意見）

その考えが正解である。

会長

第4章についてはよろしいか。

委員

異議なしの声。

委員（質問）

今老朽化という問題がある中で、富士川町の耐震化率はどの程度なのか。

事務局（回答）

具体的に何パーセントかお答えする事は出来ませんが、随時配水管等につきまして、耐震管に布設替を行っているところであります。

会長

第5章についてはよろしいか。

委員

異議なしの声。

委員（質問）

定量的な目標に管路更新率があるが、実績で0.58パーセント、目標で0.60パーセントとなっているが、非常に低い数字だと思うがどうか。

事務局（回答）

27ページに水道施設の更新という事で、管路更新率を示させていただいております。平成30年度の管路更新率の実績としまして、富士川町0.58パーセント、県内平均0.59パーセント、全国平均0.57パーセントということで、これらを上回る形で、目標を設定しております。

委員（質問）

この0.58という数字は1年間でという事か。

事務局（回答）

1年間であります。

委員（質問）

そうすると1年間でほとんど更新されていないという事か。全国的に見てもこの数字だとほとんど更新されていないという事で良いのか。

事務局（回答）

富士川町の管路延長が概ね155キロメートルありますので、0.6パーセントですと、1年間で概ね930メートルの管路更新になります。

会長

第6章についてはよろしいか。

委員

異議なしの声。

委員（質問）

今未収金はどの程度あるのか。

事務局（回答）

この場で正確な数字をお答えする事は出来ませんが、徴収率が概ね97パーセントであります。収入が1億8千万円ほどですので、そこから計算しますと、未収金が概ね540万円あるような形になります。

委員（意見）

今後、収入改善策としてコンビニ払いや電子決済を導入する事は方法として良い。出来るだけ徴収率を上げる努力をしてもらいたい。100に近い状態にしてもらいたい。

委員（質問）

令和8年度に値上げをして行くという事で良いか。

事務局（回答）

あくまでも試算であります。令和4年度から赤字になる試算になってございます。経常収支比率が100パーセントを下回ってしまいまして、5年後に料金改定も含めた見直しを行っていく事としております。

委員（質問）

赤字になる事がわかっているなら、もっと早く料金改定出来ないのか。

事務局（回答）

今後の推移を見守りながらにはなります。極力値上げしないように努力したいと考えております。仮に料金改定をする場合には、水道料金等審議会を開催し、審議して頂くこととなります。

委員（質問）

料金について一気に20パーセント上げるよりも徐々に年数パーセント上げていった方が一気に負担にならないと思うがどうか。

事務局（回答）

ここで示しています20パーセントはあくまでも一例であります。ここ数年は現状のまま事業を運営していただけますので、料金改定を検討する際は、水道料金等審議会を開催し、段階的に料金を改定していくのかを検討して頂くこととなります。

委員（質問）

この経営戦略の中で、収入の向上と支出の改善を図ってもらい、維持していき、それ以降にどうしていくか検討するという事で良いか。

事務局（回答）

出来るだけ料金を上げないように、徴収率の改善、コンビニ納付の導入等で料金が納めやすいように努力していきたいと考えております。

会 長

第7章についてはよろしいか。

委 員

異議なしの声。

委 員（質問）

フォローアップということで、中間で見直しをするという事であるが、点検・評価の方法、目標の達成状況を公表して行くのかどうか、その辺はどうなのか。

事務局（回答）

目標の達成状況等につきましては、公表して行かなければならないと考えております。

委 員（意見）

目標を立てても最終的にどうなったか不明確だと、計画は何だったんだというがあるので、PDCA サイクルを行っていただきたい。

会 長

第8章についてよろしいか。

委 員

異議なしの声。

(2) その他

事務局

今回の内容につきましては、答申についてご審議いただきたいと考えております。日程につきましては、会長、職務代理と調整しご連絡いたします。

以上